

公共MBA研修

(一財)公共経営研究機構 名前 関山 祐介

地域社会が直面する課題は多様化・複雑化しており、これまでの慣例や国の政策に依存した解決策では対応しきれない時代に突入しています。少子高齢化、人口減少、地域経済の衰退といった問題に直面する中、自治体としていかに住民の生活を支え、持続可能な地域社会を実現していくかが問われています。

特に重要なのは、地域経済の活性化と循環です。将来にわたって住民が尊厳を保ち、安心して生活できるためには、地域社会が一定の経済力を備え、その中でお金や情報が活発に動く仕組みを構築することが不可欠です。しかし、国の財政支援に依存してこの課題を解決することはもはや期待できません。そのため、自治体自らが主体となり、経営的発想と戦略的なアプローチを駆使して、地域課題に向き合う必要があります。

このような背景を踏まえ、「公共MBA研修」では自治体職員の皆さんを対象に、現代の複雑な課題に対応するための「経営的発想」と「基本的なノウハウ」を学ぶ機会を提供します。本研修の主なテーマは以下の通りです。

① 環境変化に対する認識力と理解力

社会経済情勢の変化を正確に把握し、それに対応するための知識と洞察力を養います。

② 組織のあり方とマネジメントの基礎知識

自治体が効率的かつ効果的に機能するための組織運営やリーダーシップの基本を学びます。

③ マーケティングの基礎知識と活用法

地域資源を最大限に活かし、住民や地域外の関係者との連携を強化するためのマーケティングの基礎を身につけます。

④ 財務やお金に関する基礎知識

自治体運営における財務戦略や予算管理の基本を理解し、地域経済を支える基盤を考察します。

「公共MBA研修」は、講義形式を基本としつつ、実践的なワークも取り入れ、学んだ知識を現場で活かせるような内容を目指しています。自治体職員としての視野を広げ、新しい発想とスキルを身につけることで、皆さんが地域の未来を切り拓く原動力となる

ことを期待しています。

地域社会の持続可能性を高め、住民が安心して暮らせる環境をつくるために、一緒に第一歩を踏み出しませんか？皆様のご参加を心よりお待ちしております。

自治体職員、公益能率団体管理職を経て、(一財)公共経営研究機構の設立に参画。これまで約30年にわたって総合計画、地域振興計画、シティセールス、人材育成基本方針、人事評価制度等の策定に関わり、自治体の経営改革を支援。加えて、職員研修の講師として公共MBA、公共マーケティング、政策形成、政策法務、マネジメント、メディア対応、コンプライアンス等のテーマで全国各地の自治体に出向している。

